

武蔵大学大学院

経済学研究科

博士前期課程（修士課程）

2026 年度 I 期入試

入試問題（専門科目：経営学）

※問題 1 と問題 2 を両方とも日本語で解答すること

【問題 1】

【解答又は解答例】

(1) 解答のポイント

- 両スタイルの定義を明確に示すこと
- トランザクショナルの主要構成要素を挙げること
- トランスフォーメーションの主要構成要素（カリスマ性、インスピレーション・モチベーション、知的刺激、個別的配慮）を挙げること
- 相違点と共通点を整理すること

(2) 解答例

以下の要素を踏まえ、総合的に論じること。

- トランザクショナル・リーダーシップ (TSL) は、「成果に応じた報酬／罰則による動機付け」を基本とし、部下の行動を管理・統制する手法である。主な構成要素は、状況に応じた報酬の付与や例外的管理などである。
- 一方、トランスフォーメーション・リーダーシップ (TFL) は、「明確なビジョン提示による内発的動機の喚起」を重視し、部下を自律的に高いパフォーマンスへと導く。主な要素は、カリスマ性、やる気を引き出す動機づけ、知的刺激、個別的配慮である。
- 共通点は、リーダーとフォロワー間の相互作用を重視し、組織目標の達成を目的として部下の行動変容を促す点にある。両者は相反するものではなく、状況に応じて併用・補完が可能である。
- TSL は、部下との関係を「成果 ⇄ 報酬」という心理的取引・交換の仕組みによって統制し、コンティンジェント・リワードや例外的管理を通じて、主に短期的な目標達成を促す。これに対し、TFL は、リーダーが明確かつ魅力的なビジョンを提示し、カリスマ的影響力、知的刺激、個別的配慮を駆使して部下の内発的動機を喚起し、自らの意思で自発的かつ持続的に組織変革にコミットさせる点が特徴である。

以上

【問題 2】 次の 2 問を全て解答しなさい。

【解答例】

(1)

グリーンフィールド戦略は自社の経営資源を用いて新たな子会社を 1 から作ることで、親会社から子会社への企業文化等の移転が容易である等の長所がある一方、設立・稼働までに時間がかかる等の短所もある。買収戦略とは、既存の企業を取得し自社の拠点とすることで、事業をスピーディーに開始・展開しやすい等の長所がある一方、他社との競争の結果、買収価格が高くなりすぎたりする等の短所もある。

(2)

OLI フレームワークでは、なぜ企業は他の方法ではなく海外直接投資をして自ら海外事業を行うのかを説明するために、海外直接投資が当該企業にとって最適な海外進出形態となるための 3 つの条件を示している。3 つの条件とは、所有の優位性、立地の優位性、内部化の優位性である。所有の優位性の例としては、製品開発能力、立地の優位性の例としては優れた人的資源の存在などがあげられる。これら 3 つの条件が満たされる時に、海外直接投資が当該企業にとって最適な海外進出形態となる。